

(1) 概要

令和8年5月9日及び17日に、長崎原爆資料館正面出入口前の屋外エレベーターが、故障により停止する事案が発生した。それぞれ修繕及び点検を行い、また18日に実施した月1回の定期点検においても、異常がないことを確認している。

しかし、2回連続して停止したことに加え、その原因が異なる箇所にあったことから、万全を期すため、19日から運転を停止し、細部の点検を実施した。

点検の結果、異常は認められず正常に作動していることを改めて確認できたため、29日午前9時から運転を再開している。

(2) 経過・対応状況

月 日	概 要
5月9日(土)	午後2時58分に屋外エレベーターが停止。乗客3名が約30分間閉じ込められる事案が発生。救出後の聞き取りによると怪我や体調不良等なし。翌日午後4時50分に修繕後、復旧。 【原因】安全ラインの一部のスイッチの劣化
17日(日)	午後3時28分に同エレベーター地下2階で扉が開いた状態で再び停止。利用者はなし。同日午後7時に修繕後、復旧。 【原因】扉の挟み込みを防止するセンサーに接続するケーブルの断線
18日(月)	月1回の定期点検。安全ラインを基本に詳細に点検。異常なし。
19日(火)～28日(木)	確認できるすべての箇所の細部点検を行うこととし、運転を19日から停止。「安全ライン」及び「制御盤内主要機器」の導通、抵抗値、目視による確認のほか、各部品等の詳細な点検。異常なし。
29日(金)	午前9時から運転再開。

(3) エレベーターの更新に向けた対応

設置後28年を経過しているエレベーターであることから、令和9年度からエレベーターの更新に着手できるよう計画していたが、今回のエレベーター停止事案を受け、前倒しができないか検討中。

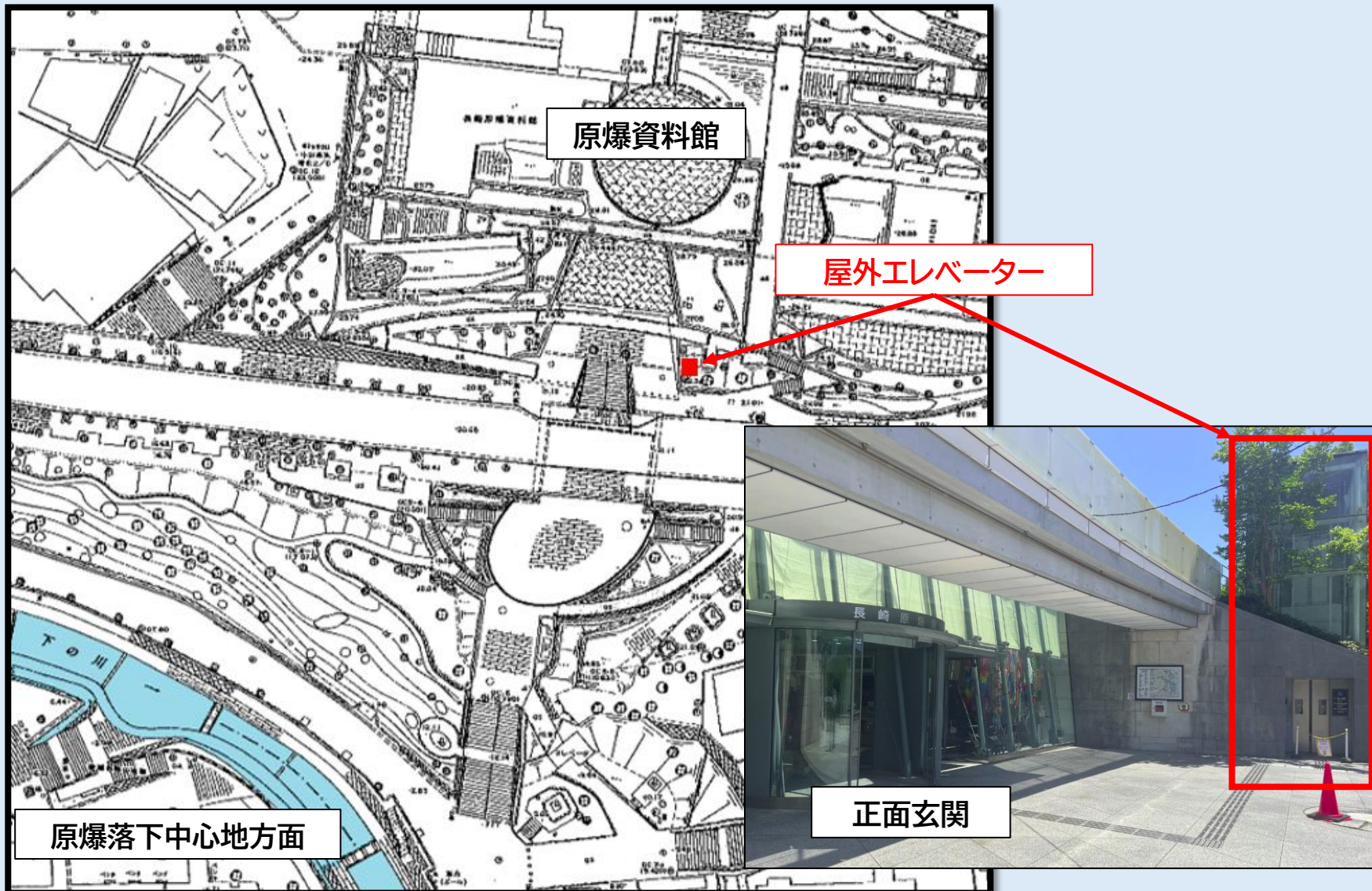
(4) 更新までの対策

- ・屋外エレベーターであり、昇降路も一部ガラス張りであることから、エレベーター内の温度及び湿度の変動が大きいこと。また災害や大きな振動などがあった場合、安全装置が作動し停止することから、エレベーター内に防災キャビネットを設置。(水や塩分をとれるもの、冷却できるものなどを常備する)
- ・指定管理者、エレベーター保守事業者及び消防局と連携して、閉じ込め事案が発生した場合を想定した、通報・救出訓練を実施。

【参考】
防災キャビネット写真



【参考】位置図



【参考】エレベーター概要

- (1)設置時期 平成9年7月
(2)機種 油圧式
(3)定員 11人

